

完全無所属  
元常陽銀行  
支店長代理



今こそ、  
市政の流れを  
変えるとき



いとう眼科(守谷駅前)  
大原 睦子 院長

### 守谷市長選挙への決意

市議として当選させていただいてから、一人でも多くの皆さまの声を市政に届けたいと思い、一軒一軒皆様のご自宅にお伺いし、お声を聴く活動を続けてまいりました。活動する中、各地域、各世代ごとに抱える喫緊の課題、そして切実な思いについて、本当にたくさんのお声をお預けいただきました。『そのたくさんのお声をなんとか形にしたい。課題を早急に解決し、生活の不安を安心に変えたい。』その強い思いから、市長選に出馬する決意をしました。

なぜここまで、市民の声が反映されないのか、市民が望むものを提供できないのか。それは、市民の皆さまと同じ目線で物事を考え、生活者に寄り添った市政運営ができていないからです。私かじおか香織はしがらみが一切ない状態で、市民の皆さまと同じ目線同じ立場で市政運営を行い、トップダウンではなく、政策の意思決定の段階から多くの皆さまの意見を巻き込んで市民の声でまちの未来を決めていく、市民本位の市政に変えてまいります。

皆さまが本当に必要とする支援、サービス、環境を提供し、いまでも未来も、誰もが安心して暮らせる守谷市を実現してまいります。

そして、このTX沿線は、県内でもお若い住民の方も多く、また新しく転入してくる方も多いため、時代の変化に対応した柔軟な発想が求められております。発展のスピードが速く、4年前と今では市政に求められるものも変わっています。私かじおか香織は、民間企業での経験、女性管理職としての実績を活かし、その変化のスピードに対応すべく先を見据えた柔軟な市政運営を行い、持続可能で全ての市民にとって安全安心な守谷を実現してまいります。

そして2歳の娘の母親としての視点から、子育て世帯に選ばれ続ける守谷を目指し、安定財源を確保したうえで、安全安心の高齢者福祉を実現する、支え合いの守谷を創ってまいります。

梶岡香織

# かじおか 香織 かおり

守谷市長選挙  
投票日

11/17 日

## あなたの一票が頼りです!

期日前投票のお知らせ

11/11月～11/16土

●場所:守谷市役所中会議場

●時間:8:30～20:00

※本人であることを確認できる証  
(運転免許証等)を持参ください。

※てぶらで  
OK



### Profile

- 昭和57年1月3日生まれ
- 両親ともに公務員の家庭で育つ
- ひかり幼稚園(守谷市本町)卒業
- 取手市立永山小・中学校卒業
- 茨城県立土浦第一高等学校卒業
- 東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業

- 元常陽銀行守谷支店 支店長代理  
営業成績を評価され、13期連続で頭取賞を受賞し、最短で支店長代理を拝命
- 2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中
- 2023年に市政を目指すため、17年間勤務した常陽銀行を退職

## 01 安心して子育て・教育できるまち

- カウンセラーや相談員を増やし、保護者が相談できる取り組みの強化
- 専門機関が連携した、不登校児童などこども一人一人に向き合った支援の取り組みを強化
- 過大規模校や小規模校問題の解決に向け、適切な小学校の在り方を推進
- 給食費及び教育に関する様々な金銭的負担無償化を推進
- こども医療費助成の拡大、およびこども医療費無料化を推進
- 所得に合わせた保育料を見直し、現在よりも負担額を減額
- 命を預かる保育現場の環境向上のために、保育士の処遇改善を実施
- 守谷駅前に子育て世代の包括支援施設を整備
- 小児救急医療体制について、市内小児科・小児クリニックと連携し強化

## 02 すべての人が安心して健やかに暮らせるまち

- デマンド乗合交通の拡充やモコバス70歳以上無料化などを進め、タクシー券の配布を検討し、高齢者の足の確保を推進
- 異世代交流の拠点となる健康温泉施設を検討
- 市内にある様々な資源を活用したシニアの活動場所・機会の拡充
- 『見守り配食サービス』を実施し、高齢者の食事の栄養管理とともに見守りを強化
- 高齢者の介護予防などのフレイル対策の強化
- 未病を目指し、各種検診事業を強化
- 市内企業と協力し、障がい者の方がいきいきと働ける職場環境づくりを推進
- 障がい者への災害時における支援体制の強化
- 障がいの有無に関係なく安心して過ごせる、そして楽しめる環境づくりへの取り組み

## 03 賑わい・ふれあいのあるまち

- 守谷駅前に図書館サービスや役所機能、送迎保育ステーションなどのサテライト施設を設置し、駅前に賑わいと利便性を推進
- 多世代が楽しめる、守谷市の規模にあった文化ホール等の公共施設整備の推進
- 市内全体の活性化の推進のために、みずき野・北団地等を想定し、子育て世代の住宅費購入に対しての金銭的支援の検討
- 開発が進んでいる野木崎地区については、産業・商業・農業各分野が連携したまちづくりの推進
- 街路樹や公園の適切な維持管理を行い、景観や環境の整備・保全を強化
- 行政施設や民間建物のZEB(ゼロエネルギービル)\*化の推進
- カーボンニュートラルの推進

\*ZEBとは、省エネや再生可能エネルギーの活用により、建物で消費する年間の一次エネルギーの消費量をゼロにすることを目指した建物のこと。

## 04 持続可能なまちづくりのための市役所改革

- 市民の声を市政に反映するため、『市長との対話』を定期的実施
- DX\*\*1などを利活用し、市民参加・市民対話が更に進む仕組みを構築し、市民の声を集め市政に反映させるための専門部署を設置
- 予算・決算に連動した行政評価制度を確立し、必要な施策に適切な資源が投入できる仕組みを設定
- EBPM\*\*2など証拠を大事にした政策形成を実施
- 「若者議会」(仮)を設置し、若者自らが地域のあり方を考え、地域づくりをすすめることができる仕組みの構築
- 職員がやる気が高まる評価制度・給与制度・組織づくりの推進

\*\*1:DX(デジタルフォーメーション)…デジタル技術を活用してビジネスや生活を変革すること。  
\*\*2:EBPM(エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング)…政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づくものとする。



詳しい政策は  
こちらに



〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5

TEL : 0297-38-5593 FAX : 050-3145-2882

E-mail : office@kaori-moriya.com

Web : https://kaori-moriya.com

証紙